Mist 設定マニュアル

- Wired Assurance -

ポートプロファイルの認証設定

ジュニパーネットワークス株式会社 2025年1月 Ver 1.0

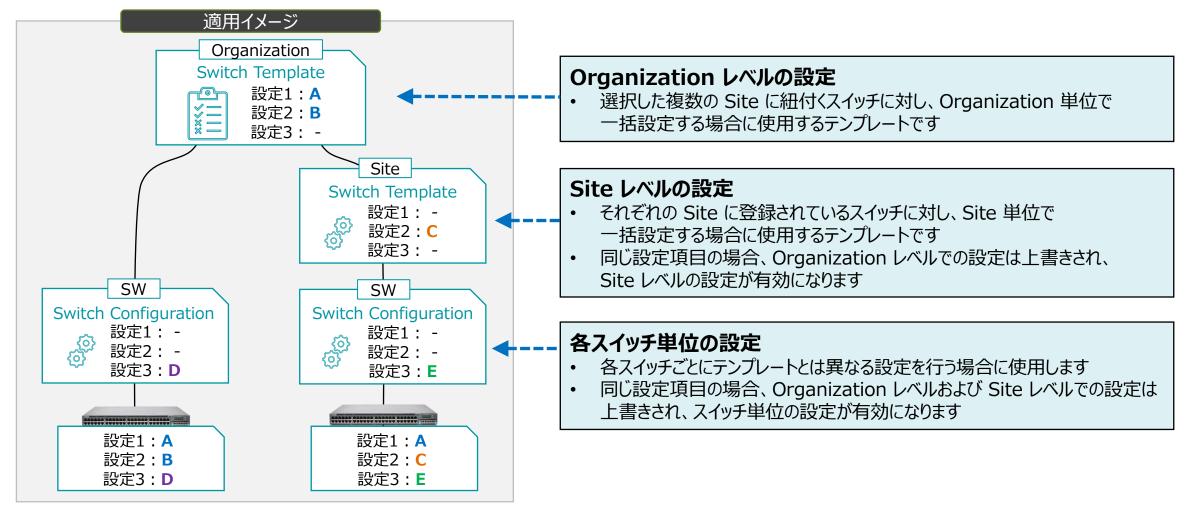


はじめに

- ❖ 本マニュアルは、『Wired Assurance におけるポートプロファイルの認証設定』について説明します
- ❖ 手順内容は 2025年1月 時点の Mist Cloud にて確認を実施しております 実際の画面と表示が異なる場合は以下のアップデート情報をご確認ください https://www.juniper.net/documentation/us/en/software/mist/product-updates/
- ❖ 設定内容やパラメータは導入する環境や構成によって異なります 各種設定内容の詳細は下記リンクよりご確認ください https://www.juniper.net/documentation/product/us/en/mist/
- ◆ 他にも多数の Mist 日本語マニュアルを「ソリューション&テクニカル情報サイト」に掲載しております https://www.juniper.net/jp/ja/local/solution-technical-information/mist.html
- ❖ 本資料の内容は資料作成時点におけるものであり事前の通告無しに内容を変更する場合がありますまた本資料に記載された構成や機能を提供することを条件として購入することはできません

テンプレートを使用した設定の概要

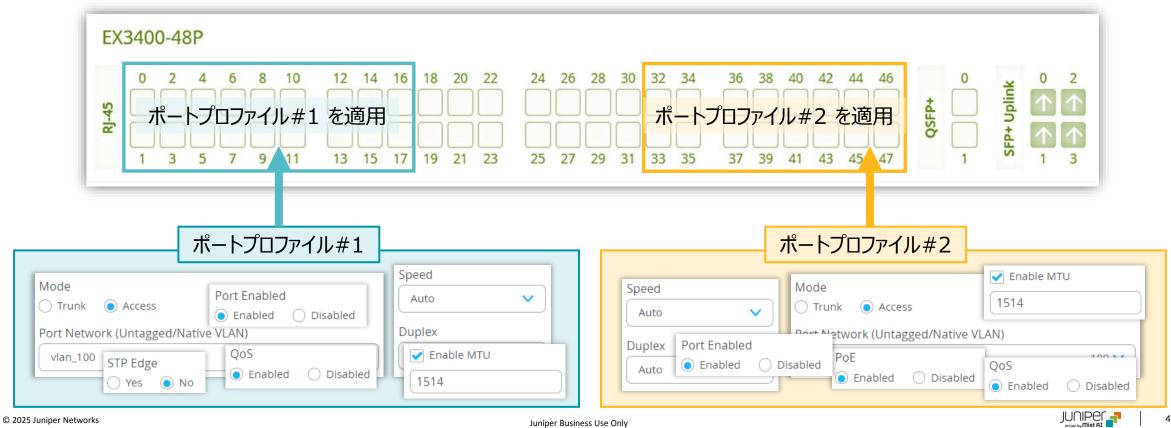
Mist の管理画面からスイッチに対し、テンプレートを使用した設定が可能です



ポートプロファイルの概要

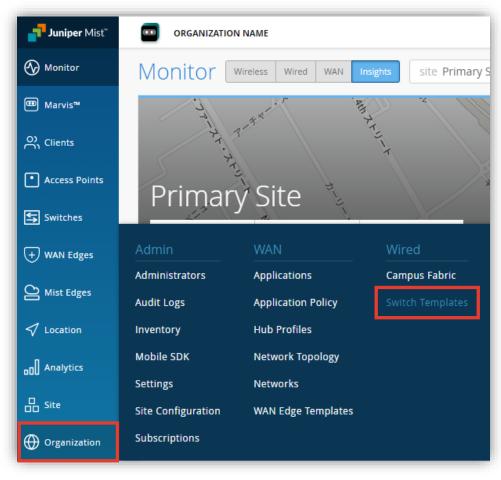
ポートプロファイルを作成し、複数のインタフェースに割り当てることで、それらインタフェースを一括で設定することが可能です

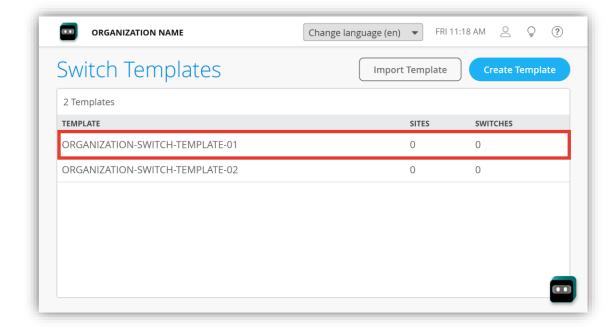
ポートプロファイルを条件付テンプレートと組み合わせることで、条件に一致した複数のスイッチに対し一括でインタフェースの 設定を行うことも可能になります



テンプレートを使用し全てのスイッチに一括で設定を変更する場合

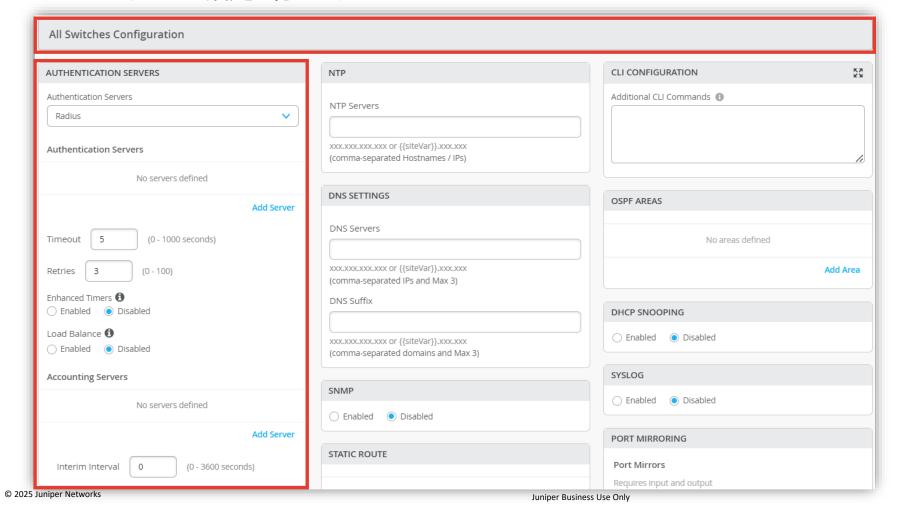
1. [Organization] から [Switch Templates] を 2. 編集対象の [テンプレート] を選択します 選択します





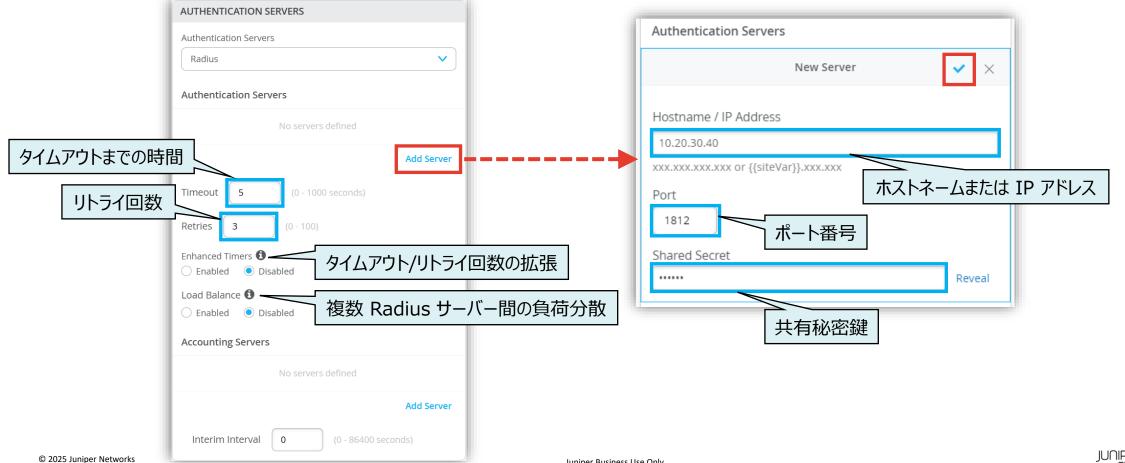
テンプレートを使用し全てのスイッチに一括で設定を変更する場合

3. [All Switches Configuration] 内の「AUTHENTICATION SERVERS」の項目にて Radius サーバの設定を行います



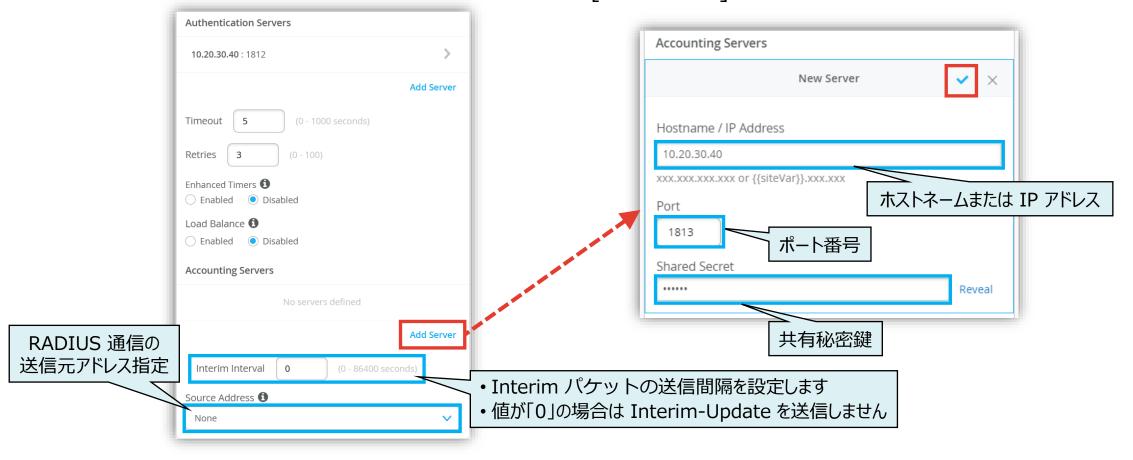
テンプレートを使用し全てのスイッチに一括で設定を変更する場合

- 4. デフォルト値から変更する場合、RADIUS 認証サーバーとの通信における タイムアウト値 と リトライ回数 を設定します
- 5. [Add Server] をクリックし、認証サーバーの情報を入力後、右上の [チェックマーク] をクリックします



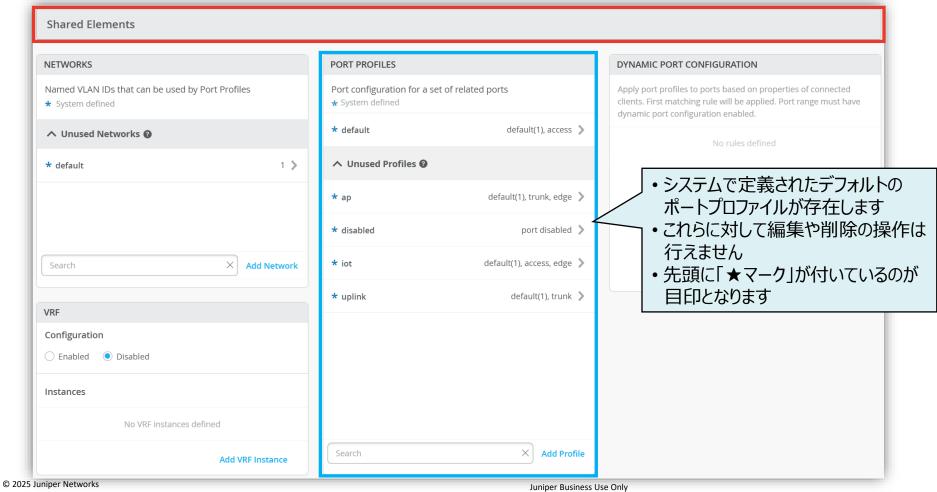
テンプレートを使用し全てのスイッチに一括で設定を変更する場合

- 6. RADIUS アカウントサーバーを設定する場合は「Accounting Servers」欄の [Add Server] をクリックします
- 7. RADIUS アカウントサーバーの情報を入力し、右上の [チェックマーク] をクリックします



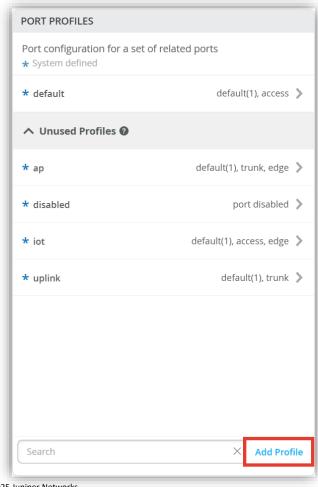
テンプレートを使用し全てのスイッチに一括で設定を変更する場合

8. [Shared Elements] 内の「PORT PROFILES」の項目にて認証の設定を行います

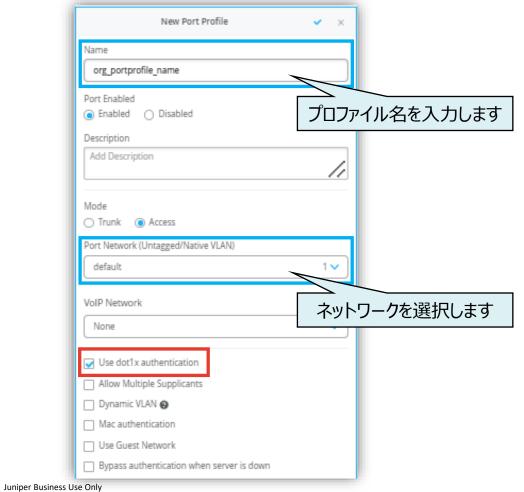


テンプレートを使用し全てのスイッチに一括で設定を変更する場合

9. [Add Profile] をクリックします

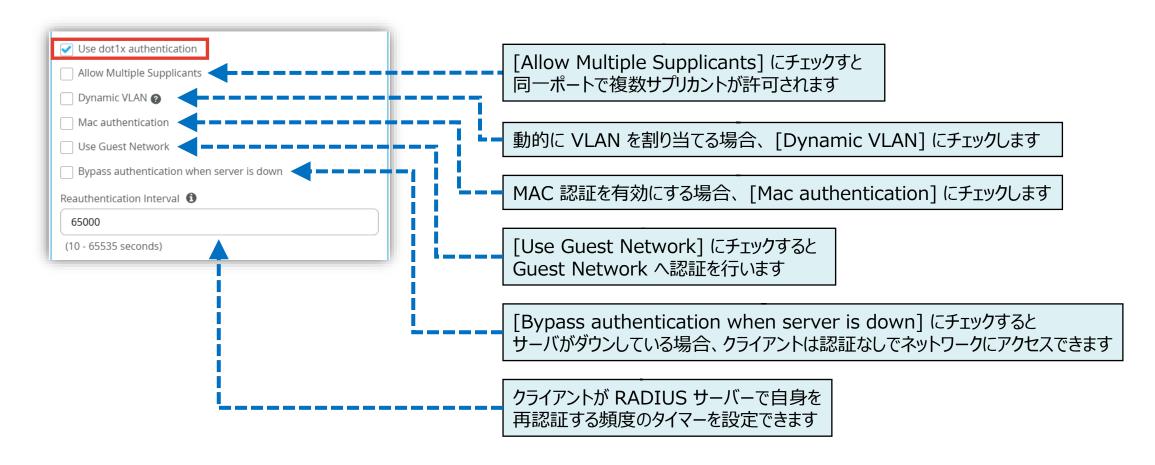


10.ポートプロファイル名を入力し、 [Use dot1x authentication] にチェックを入れます



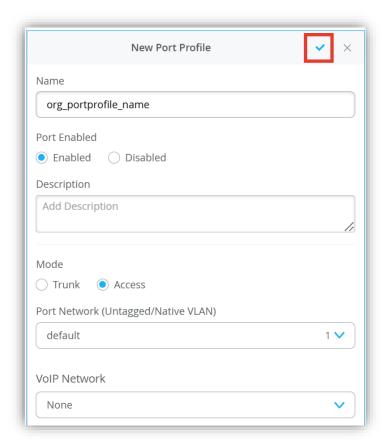
テンプレートを使用し全てのスイッチに一括で設定を変更する場合

11.その他オプションを設定します

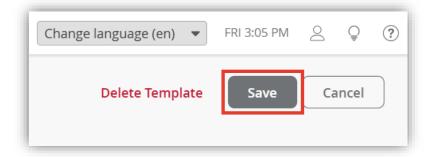


テンプレートを使用し全てのスイッチに一括で設定を変更する場合

12.右上の [チェックマーク] をクリックします

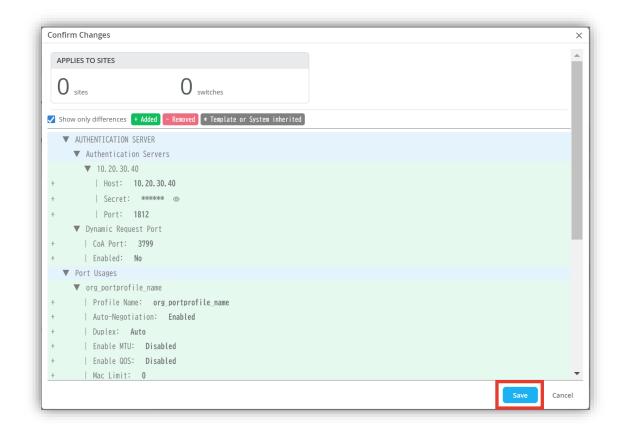


13.右上の [チェックマーク] をクリックします



テンプレートを使用し全てのスイッチに一括で設定を変更する場合

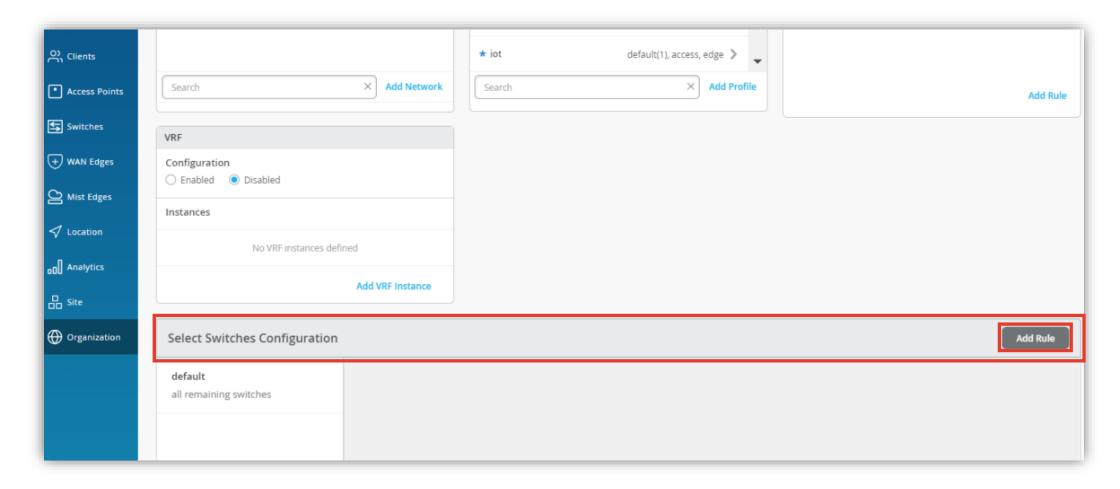
14.変更の差分が表示されるので、確認して再度 [Save] をクリックします



Organization レベルのポートプロファイル適用

Organization レベルの条件付テンプレートを使用しスイッチに一括でポートプロファイルを適用する

1. [Select Switches Configuration] の項目にて [Add Rule] をクリックし設定を行います



Organization レベルのポートプロファイル適用

Organization レベルの条件付テンプレートを使用しスイッチに一括でポートプロファイルを適用する

2. 条件付テンプレートの [Port Config] にて [Add Port Configuration] をクリックします

3. [Configuration Profile] のプルダウンからポートプロファイルを選択し、 右上の [チェックマーク] をクリックします

※条件付テンプレートの詳細は以下のマニュアルを参照下さい 「2-09_スイッチの設定_条件付テンプレート適用」

ルール新規作成時には Info の設定

Select Switches Configuration

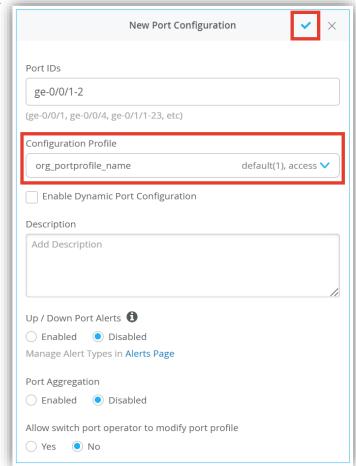
default
all remaining switches

Apply port profiles to port ranges on matching switches

Unassigned ports

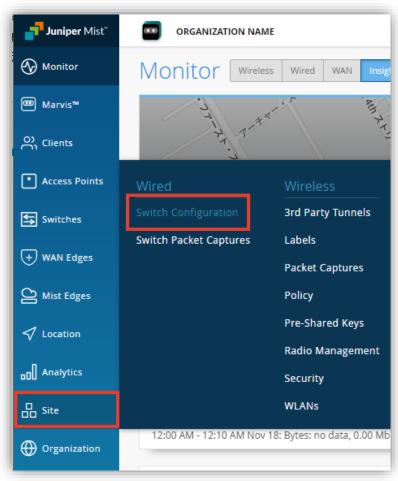
Default

Add Port Configuration

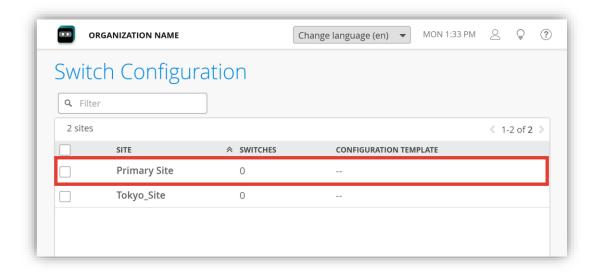


Site ごとに設定を変更する場合

1. [Site] から [Switch Configuration] を 選択します



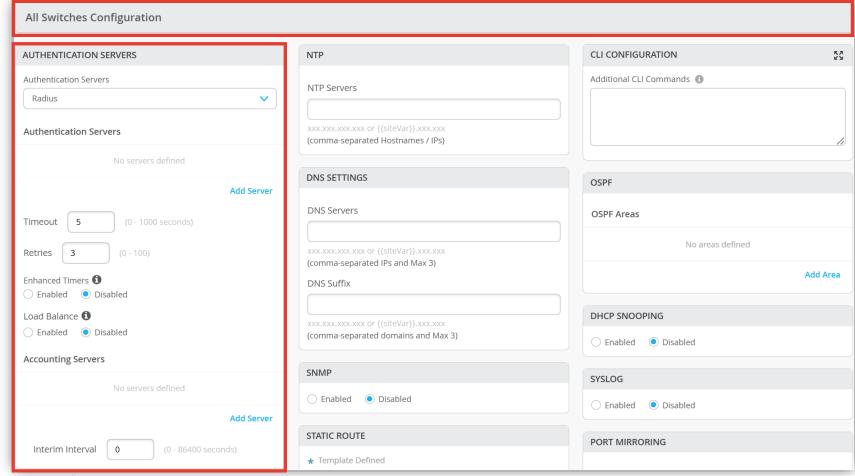
2. 編集対象の [Site] を選択します



Juniper Business Use Only

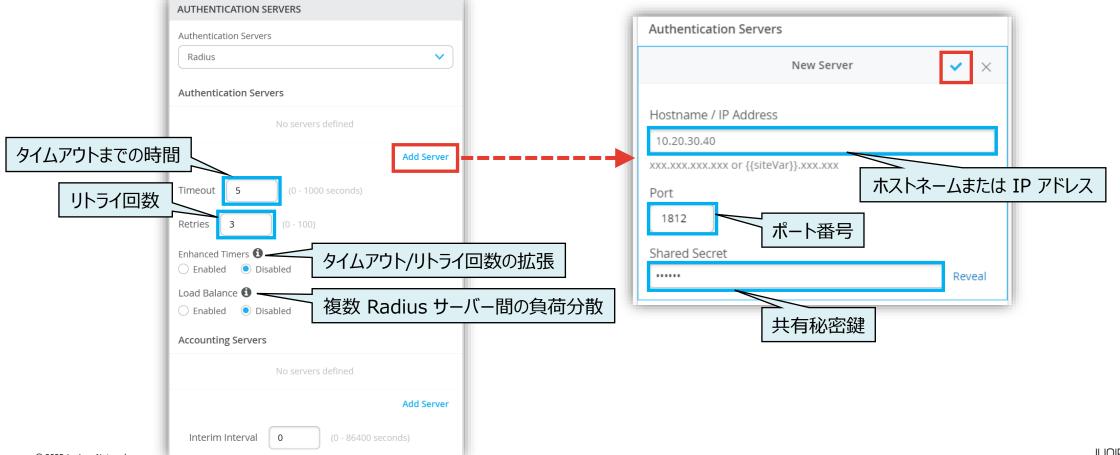
Site ごとに設定を変更する場合

3. [All Switches Configuration] 内の「AUTHENTICATION SERVERS」の項目にて Radius サーバの設定を行います



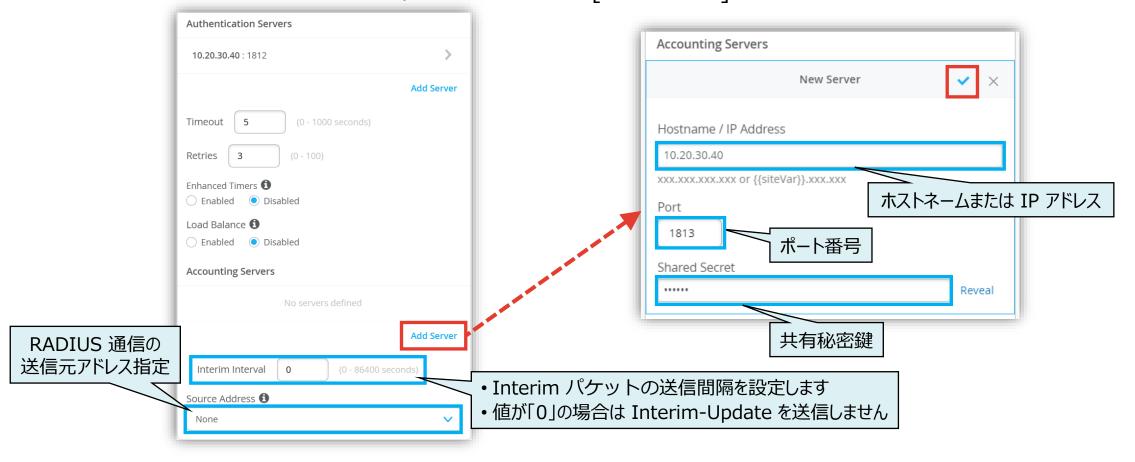
Site ごとに設定を変更する場合

- 4. デフォルト値から変更する場合、RADIUS 認証サーバーとの通信における タイムアウト値 と リトライ回数 を設定します
- 5. [Add Server] をクリックし、認証サーバーの情報を入力後、右上の [チェックマーク] をクリックします



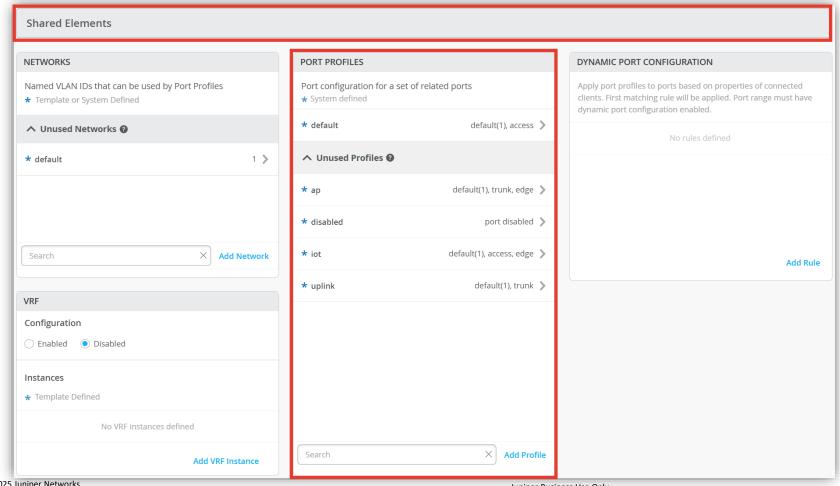
Site ごとに設定を変更する場合

- 6. RADIUS アカウントサーバーを設定する場合は「Accounting Servers」欄の [Add Server] をクリックします
- 7. RADIUS アカウントサーバーの情報を入力し、右上の [チェックマーク] をクリックします



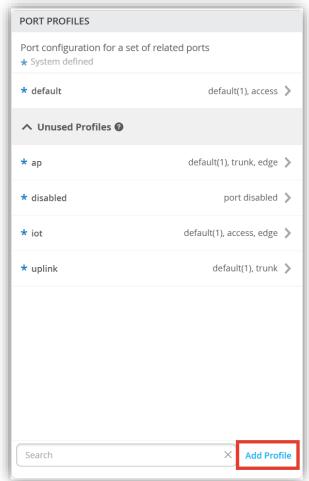
Site ごとに設定を変更する場合

8. [Shared Elements] 内の「PORT PROFILES」の項目にて認証の設定を行います

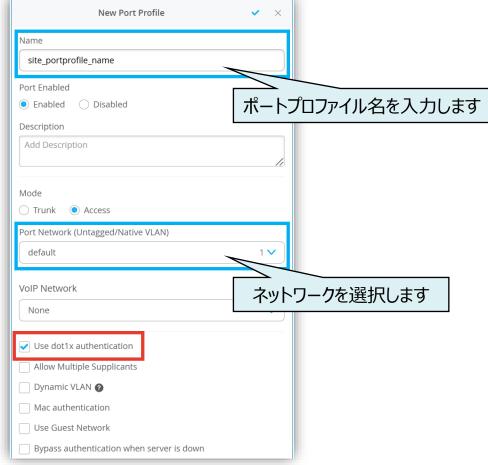


Site ごとに設定を変更する場合

9. Site レベルのポートプロファイルを作成する場合は [Add Profile] をクリックします

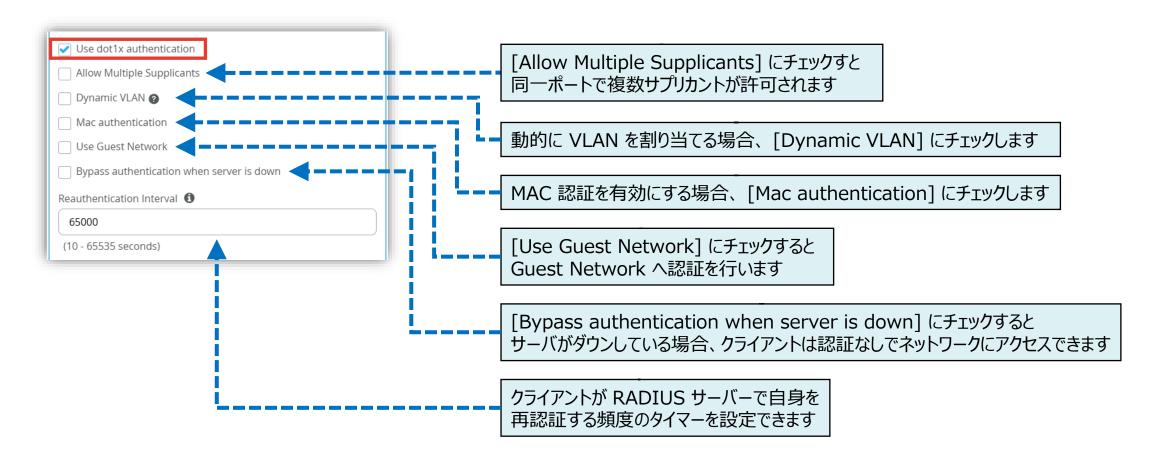


10.ポートプロファイル名を入力し、 [Use dot1x authentication] にチェックを入れます



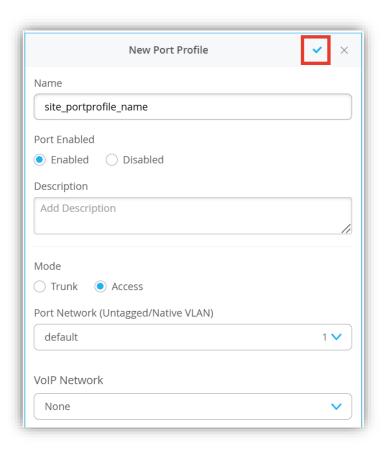
Site ごとに設定を変更する場合

11.その他オプションを設定します

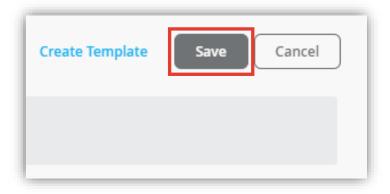


Site ごとに設定を変更する場合

12.右上の [チェックマーク] をクリックします

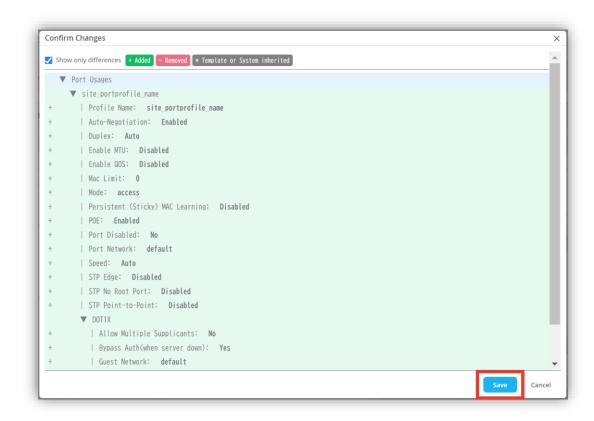


13.[Save] をクリックし編集内容を保存します



Site ごとに設定を変更する場合

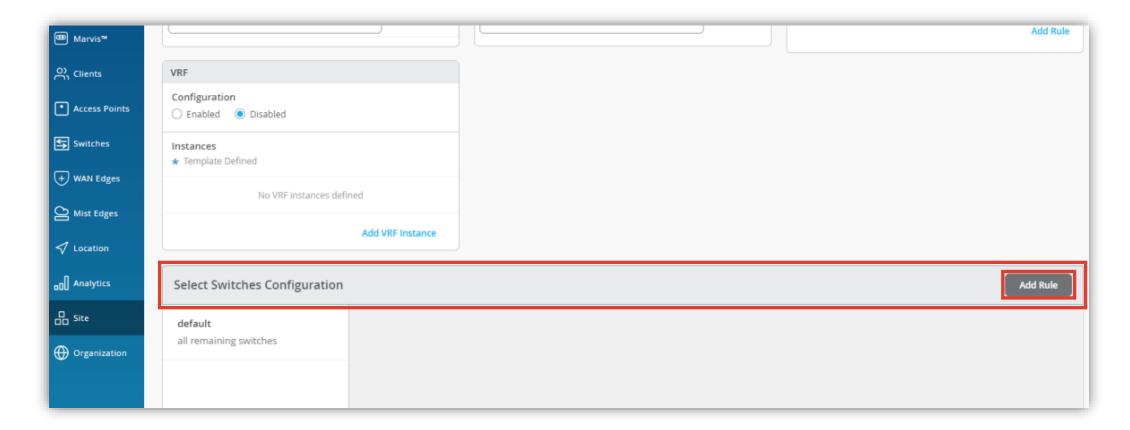
14.変更の差分が表示されるので、確認して再度 [Save] をクリックします



Site レベルのポートプロファイル適用

Site レベルの条件付テンプレートを使用しスイッチに一括でポートプロファイルを適用する

1. [Select Switches Configuration] の項目にて設定を行います



Site レベルのポートプロファイル適用

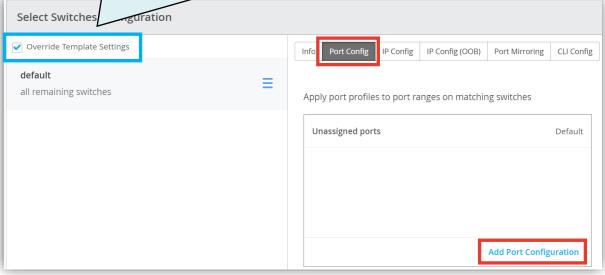
Site レベルの条件付テンプレートを使用しスイッチに一括でポートプロファイルを適用する

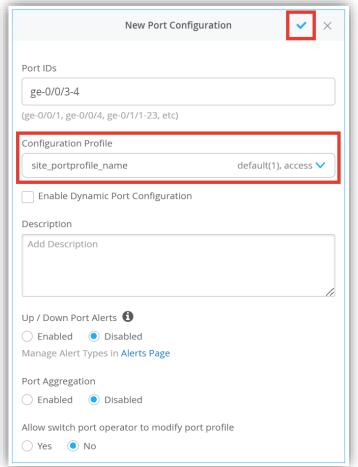
2. 条件付テンプレートの [Port Config] にて [Add Port Configuration] をクリックします

3. [Configuration Profile] のプルダウンからポートプロファイルを選択し、 右上の [チェックマーク] をクリックします

※条件付テンプレートの詳細は以下のマニュアルを参照ください 「2-09_スイッチの設定_条件付テンプレート適用」

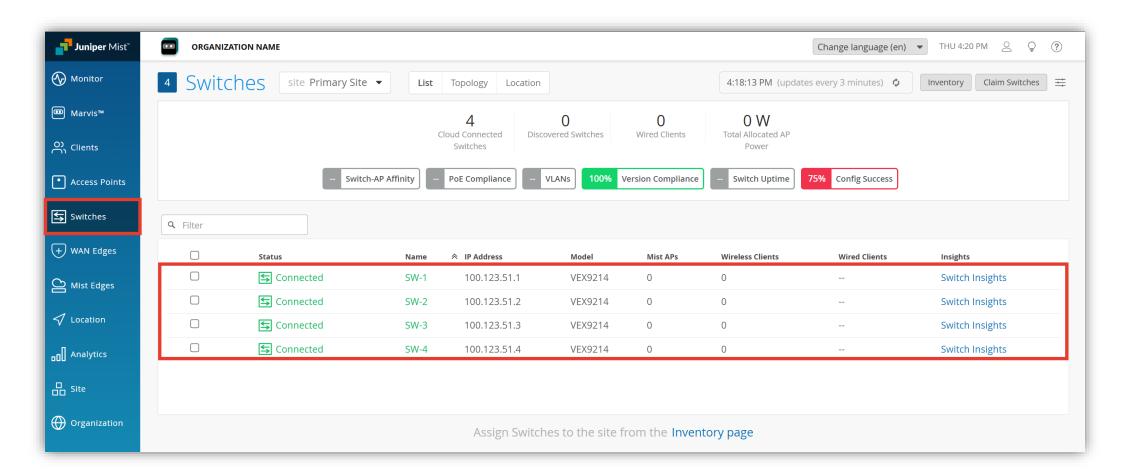
Organization レベルの条件付テンプレートを上書きする場合、 [Override Template Settings] にチェックを入れます





スイッチごとに設定を変更する場合

1. 各スイッチごとに設定を変更する場合は、[Switches] を選択し、一覧から変更対象となる [スイッチ] をクリックします



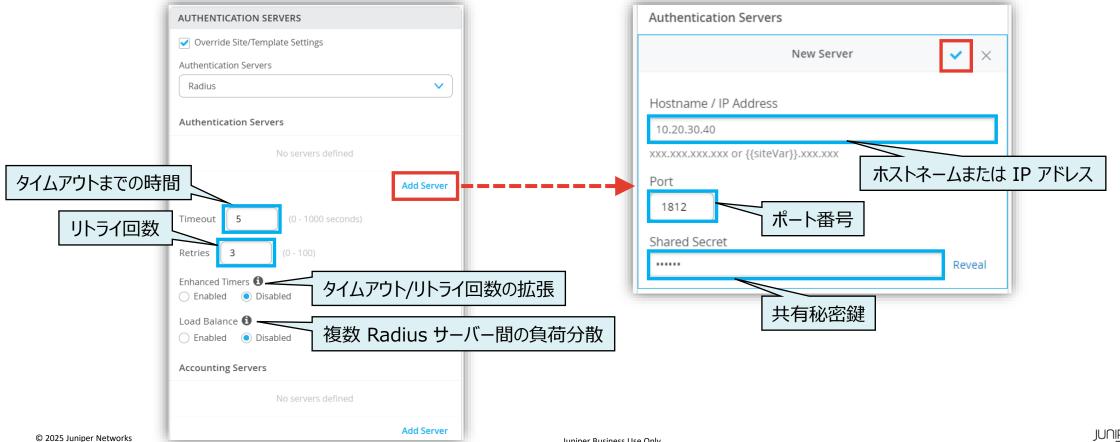
スイッチごとに設定を変更する場合

2. [Services] 内の「AUTHENTICATION SERVERS」の項目にて Radius サーバの設定を行います

AUTHENTICATION SERVERS	NTP	DHCP SNOOPING
Override Site/Template Settings	Override Site/Template Settings	Override Site/Template Settings
Authentication Servers	NTP Servers	Enabled Disabled
Radius		
	xxx.xxx.xxx or {{siteVar}}.xxx.xxx	DHCP SERVER / RELAY
Authentication Servers	(comma-separated Hostnames / IPs)	* Campus Fabric Defined
No servers defined	DNS SETTINGS	○ Enabled ● Disabled
Add Server	Override Site/Template Settings	
Timeout 5 (0 - 1000 seconds)	DNS Servers	SYSLOG
		Override Site/Template Settings
Retries 3 (0 - 100)	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	Enabled Disabled
inhanced Timers ① Enabled Disabled	DNS Suffix	PORT MIRRORING
oad Balance 1		Override Site/Template Settings
Enabled Disabled	xxx.xxx.xxx.xxx or {{siteVar}}.xxx.xxx	oremide steal remplate settings
Accounting Servers	(comma-separated domains and Max 3)	Port Mirrors
-	SNMP	Requires input and output
No servers defined	Override Site/Template Settings	No options defined
Add Server	■ Enabled ■ Disabled	

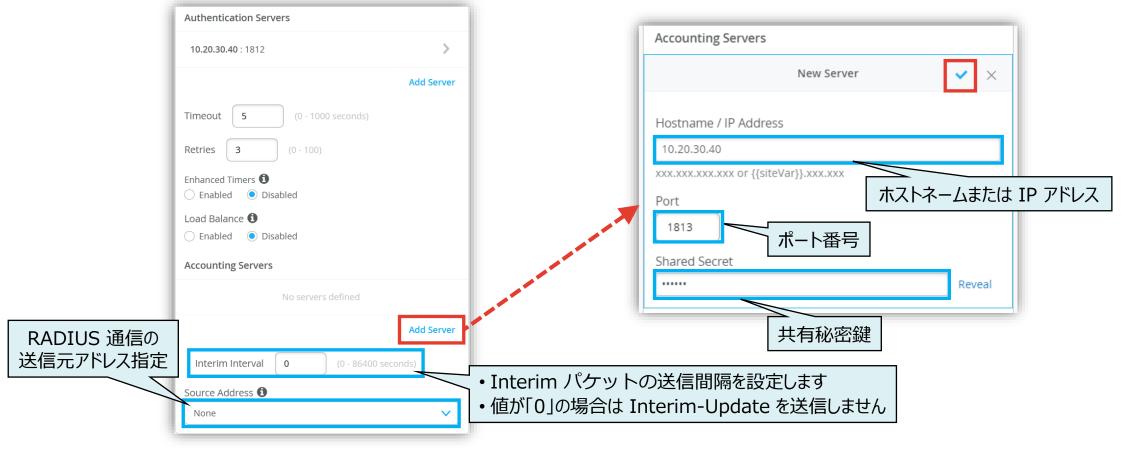
スイッチごとに設定を変更する場合

- 3. テンプレートを適用している場合は項目がグレーアウトされています 設定を上書きする場合は [Override Site/Template Settings] にチェックを入れます
- 4. [Add Server] をクリックし、認証サーバーの情報を入力後、右上の [チェックマーク] をクリックします



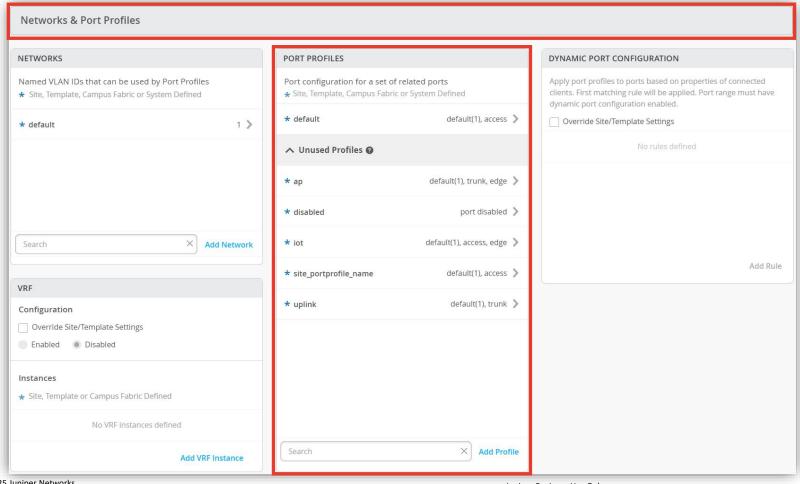
スイッチごとに設定を変更する場合

- 5. RADIUS アカウントサーバーを設定する場合は「Accounting Servers」欄の [Add Server] をクリックします
- 6. RADIUS アカウントサーバーの情報を入力し、右上の [チェックマーク] をクリックします



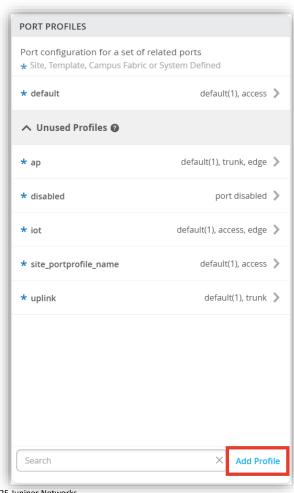
スイッチごとに設定を変更する場合

7. [Networks & Port Profiles] 内の「PORT PROFILES」の項目にて認証の設定を行います

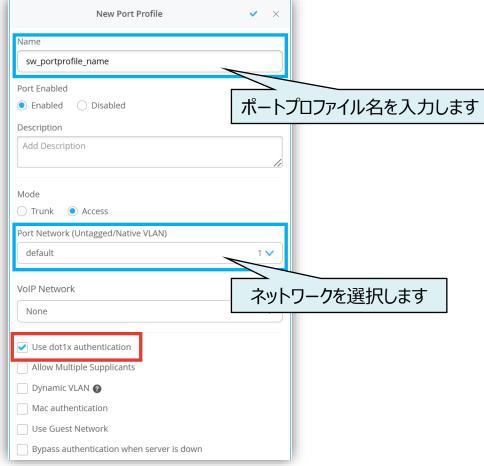


スイッチごとに設定を変更する場合

8. [Add Profile] をクリックします

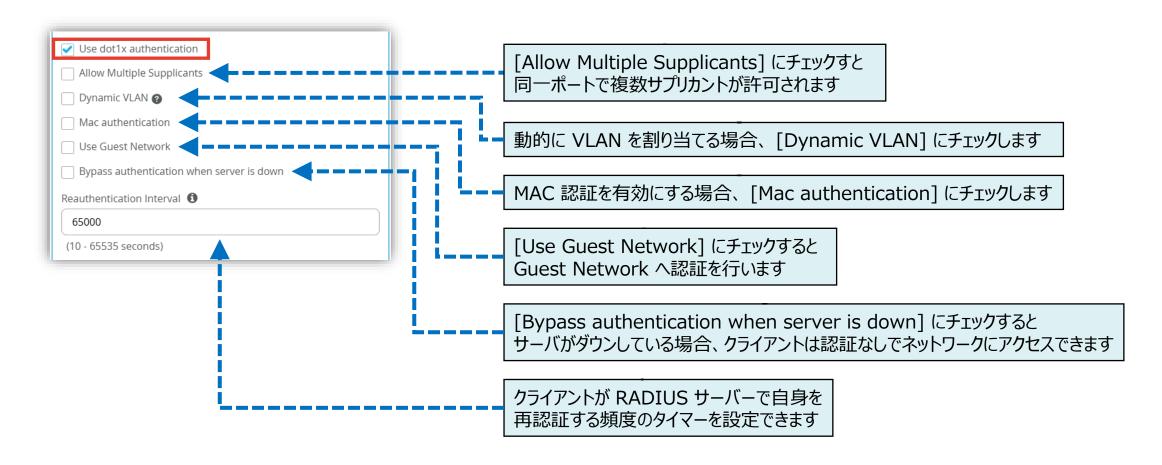


9. ポートプロファイル名を入力し、 [Use dot1x authentication] にチェックを入れます



スイッチごとに設定を変更する場合

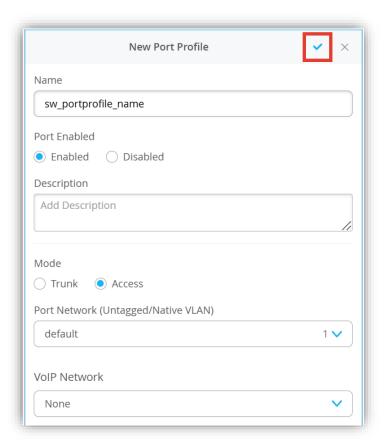
10.その他オプションを設定します



Juniper Business Use Only

スイッチごとに設定を変更する場合

11.右上の [チェックマーク] をクリックします



12.[Save] をクリックし編集内容を保存します



スイッチごとに設定を変更する場合

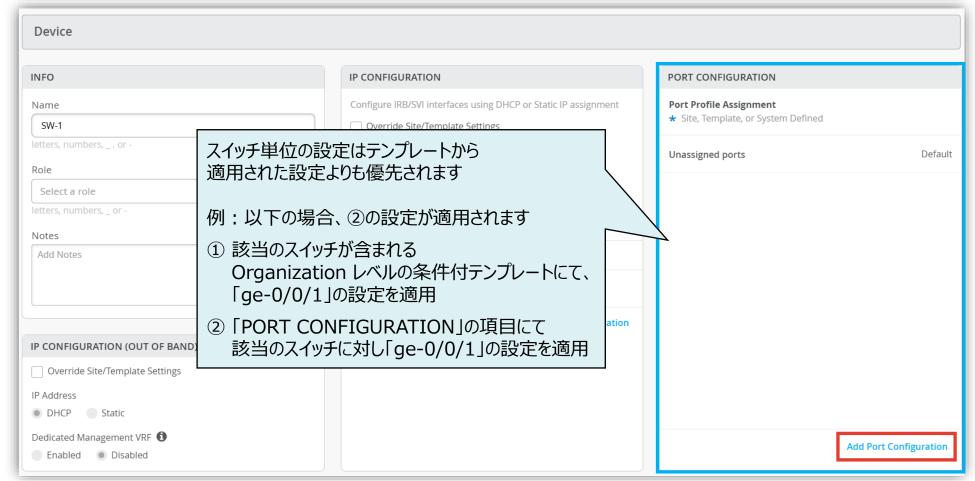
13.変更の差分が表示されるので、確認して再度 [Save] をクリックします



スイッチ単位のポートプロファイル適用

スイッチごとにポートプロファイルを適用する場合

1. 「PORT CONFIGURATION」の項目にてポートプロファイルの適用を行います [Add Port Configuration] をクリックします



スイッチ単位のポートプロファイル適用

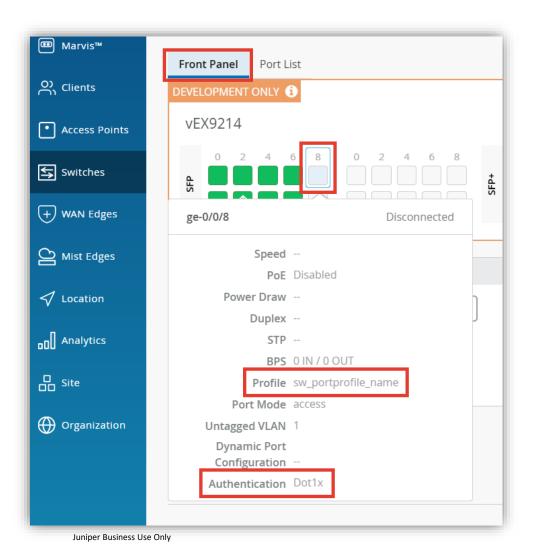
スイッチごとにポートプロファイルを適用する場合

2. 「New Port Configuration」画面が表示されます **New Port Configuration** 3. 設定を行い、右上の [チェックボタン] をクリックします Port IDs ge-0/0/8 ポートプロファイルを適用するポート ID を (ge-0/0/1, ge-0/0/4, ge-0/1/1-23, etc) 入力します Interface L3 sub-interfaces L2 interfaceL3 interface 適用するインタフェースタイプを選択します Configuration Profile default(1), access V sw portprofile name プルダウンから適用するポートプロファイル Enable Dynamic Port Configuration を選択します Description Add Description インタフェース Up/Down 時にアラートを受信 できるようになります (別途 Alerts 設定が必要) Up / Down Port Alerts 🚯 Enabled Disabled Manage Alert Types in Alerts Page Port Aggregation Switch Port Operator によりポートプロファイル EnabledDisabled を変更できるようにする場合は Yes を選択します Allow switch port operator to modify port profile Yes
No

ポートプロファイル適用状況の確認

Front Panel

- 1. スイッチの [Front Panel] のポートに マウスをあてると設定内容が表示されます
- 2. 「Profile」欄に適用した ポートプロファイル名が記載されます
- 3. 「Authentication」欄に認証方式が 表示されます



ポートプロファイル適用状況の確認

Port List

- 1. スイッチの [Port List] をクリックするとポートの一覧が表示されます
- 2. 「Profile」欄に適用したポートプロファイル名が記載されます

